

**UPSS**

# Web Tool Starter

## Windows 版

ユーザガイド

### ユーザガイド中の登録商標の記載について

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他の製品名、社名は各社の登録商標または商標です。

### おことわり

- 本ソフトウェアおよび本書の一部または全部を、許可なく複製、転載することは、かたくお断りいたします。
- 本製品の内容につきましては万全を期して検査を行っておりますが、万一、お気づきの点がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
- 本製品の内容は、予告なく変更される場合があります。
- 本製品の運用に際しては、本書をよくお読みになって、機能を理解した上でご使用ください。本製品を使用したことによる結果につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。

### お問い合わせ先

UPS ソリューションズ株式会社 技術部 テクニカル・サポートグループ

TEL 03-5833-4061 FAX 03-3861-0920

E-mail [support@ups-sol.com](mailto:support@ups-sol.com)

受付時間 平日 9:00～18:00（当社休日を除く）

# 目 次

1. はじめに.....	1
1.1 概要 .....	1
1.2 対応製品.....	1
1.3 注意事項.....	2
1.4 本書の図版について .....	2
2. コンピュータへの導入.....	3
2.1 動作に必要な条件.....	3
2.2 コンピュータへの導入 .....	4
3. GUI 版の操作方法.....	5
3.1 ソフトウェアの起動 .....	5
3.2 Web ツールの起動と中断 .....	7
3.3 ソフトウェアの終了 .....	8
3.4 エラーの一覧と発生時の対応 .....	9
4. CUI 版の操作方法.....	11
4.1 Web ツールの起動.....	11
4.2 エラーの一覧と発生時の対応 .....	13
付録 A HTTPS 通信を行うための更新プログラムのインストール方法 .....	15
付録 B .NET Framework 3.5.1 のインストール方法 .....	17
付録 C お使いの Windows が 32bit 版か 64bit 版かを確認する方法.....	20
付録 D ショートカットの作成方法 .....	21

## 1. はじめに

## 1. はじめに

### 1.1 概要

Web Tool Starter（以下、「本ソフトウェア」といいます）は、UPS ソリューションズ株式会社（以下、「当社」といいます）製の電源管理製品（以下、「製品」といいます）の、Web 管理ツールまたは Web 表示ツール（以下、「Web ツール」といいます）を起動するためのソフトウェアです。

本ソフトウェアは、GUI 版（画面ツール）と CUI 版（コマンドツール）があります。ショートカットを作成して Web ツールを起動する場合は、CUI 版を使用します。

### 1.2 対応製品

本ソフトウェアを使用して、Web ツールを起動できる製品は次の通りです。

製品名	プログラムバージョン
LAN インタフェースカード LAN ADAPTER LAN インタフェースカード BOX (IPv6 対応品)	ROM プログラム：P0010533E 以降 WEB プログラム：P0010534C 以降（管理ツール） P0010705C 以降（表示ツール）
LAN インタフェースカード LAN ADAPTER LAN インタフェースカード BOX (IPv6 非対応品)	ROM プログラム：P0010187K 以降 WEB プログラム：P0010188F 以降（管理ツール） P0010248G 以降（表示ツール）
LAN インタフェースカード LAN ADAPTER (100BASE-TX /10BASE-T 対応品)	ROM プログラム：P0001710Y 以降 WEB プログラム：P0001711N 以降
LAN インタフェースカード (10BASE-T 専用品)	ROM プログラム：P0001206W 以降 WEB プログラム：P0001262G 以降
UPSS-RDBox シリーズ	ROM プログラム：P0001892N 以降 WEB プログラム：P0001893H 以降
SANUPS MT15A / MT15B	ROM プログラム：P0001162R 以降 WEB プログラム：P0001163F 以降
SANUPS IT Monitor	ROM プログラム：P0001814F 以降 WEB プログラム：P0001817C 以降

## 1. はじめに

SANUPS SOFTWARE Ver.3 <sup>(※)</sup>	Ver.3.0.1 以降
SANUPS SOFTWARE Ver.2 <sup>(※)</sup>	Ver.2.0.2 以降

※ UPS 本体とシリアルケーブルで接続する構成でお使いの場合のみ対象となります

### <注意>

製品のプログラムを最新のバージョンに更新してから、本ソフトウェアをご利用ください。  
更新プログラムは、当社までお問い合わせください。

当社ホームページ：<https://www.ups-sol.com>

## 1.3 注意事項

本ソフトウェアはネットワーク通信を行い、Web ツールを起動します。製品のユーザガイドをお読みにになり、あらかじめ本ソフトウェアを使用するコンピュータと、Web ツールを起動する製品がネットワーク通信を行えるように設定してください。

## 1.4 本書の図版について

お使いの Windows のバージョンにより、画面の表示が異なる場合があります。

## 2. コンピュータへの導入

## 2. コンピュータへの導入

### 2.1 動作に必要な条件

ディスク容量：200Mバイト以上の空き容量

ディスプレイ：800×600ドット以上／256色以上表示可能なディスプレイ

対応OS：

Windows 7 SP1 (※1, 4)

Professional / Ultimate / Enterprise

Windows Server 2008 R2 SP1 (※2, 3, 4, 5)

Standard / Enterprise

Windows Server 2012 (※2, 3)

Essentials / Standard / Datacenter

Windows 8.1 (※1)

Windows 8.1 / Windows 8.1 Pro / Windows 8.1 Enterprise

Windows Server 2012 R2 (※2, 3)

Essentials / Standard / Datacenter

Windows 10 (※1)

Home / Pro / Enterprise / Education

Windows Server 2016 (※2, 3)

Essentials / Standard / Datacenter

Windows Server 2019 (※2, 3)

Essentials / Standard / Datacenter

(※1) x86 版(32bit 版)、x64 版(64bit 版)に対応しています。

(※2) x64 版(64bit 版)に対応しています。

(※3) Server Core および、Windows Storage Server (Windows Server IoT 2019 for Storage 含む) には対応していません。

以下は GUI 版を使用する場合の条件です。

(※4) HTTPS を使用して Web ツールを起動する場合、更新プログラムをインストールしていただく必要があります。詳細は、巻末の「付録 A HTTPS 通信を行うための更新プログラムのインストール方法」をご覧ください。

(※5) サーバーマネージャーを使用して、.NET Framework 3.5.1 をインストールしていただく必要があります。詳細は、巻末の「付録 B .NET Framework 3.5.1 のインストール方法」をご覧ください。

## 2. コンピュータへの導入

### 2.2 コンピュータへの導入

#### (1) 圧縮ファイルの展開

本ソフトウェアの圧縮ファイルを「デスクトップ」や「ドキュメント」などに置き、展開してください。

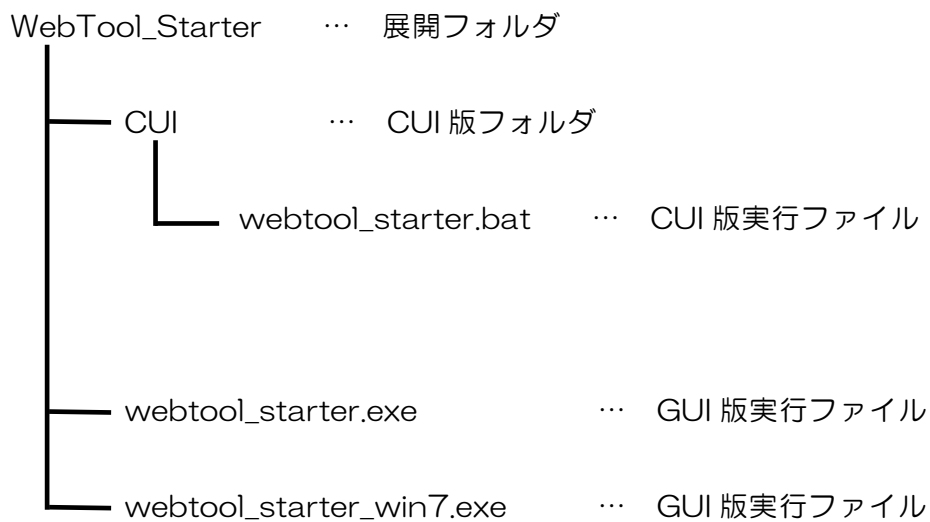
圧縮ファイル名：WebTool\_Starter.zip

#### <注意>

圧縮ファイルを展開する際は、管理者権限が必要なフォルダには展開しないでください。

#### (2) 実行ファイルの構成

本ソフトウェアの実行ファイルは、以下のフォルダに展開されます。



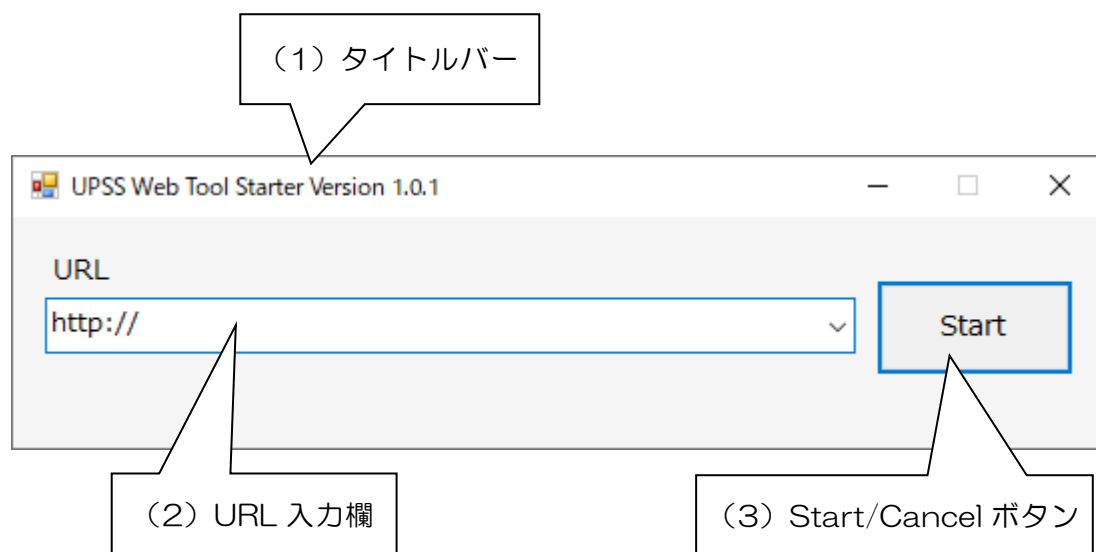
## 3. GUI 版の操作方法

### 3.1 ソフトウェアの起動

「2.2（１）圧縮ファイルの展開」にて本ソフトウェアを展開したフォルダへ移動し、実行ファイルをダブルクリックすると、ソフトウェアが起動します。

お使いの Windows によって、実行ファイルが異なります。次の表をご覧ください、適切な実行ファイルをダブルクリックしてください。

お使いの Windows	実行ファイル名
Windows 7 SP1 Windows Server 2008 R2 SP1	webtool_starter_win7.exe
上記以外の対応 OS	webtool_starter.exe



#### (1) タイトルバー

本ソフトウェアのタイトルとバージョンが表示されます。

（本書では、上図を除きバージョン表記のない画像を使用しています。）

#### (2) URL 入力欄

Web ツールを起動する製品の URL を入力します。

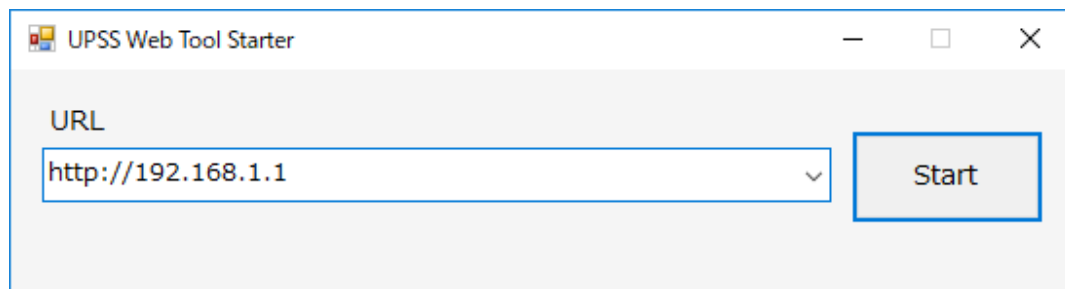
URL には、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、ホスト名を使用できます。

またプロトコルは、HTTP および HTTPS が使用できます。



### 3. GUI 版の操作方法

#### URL の入力例

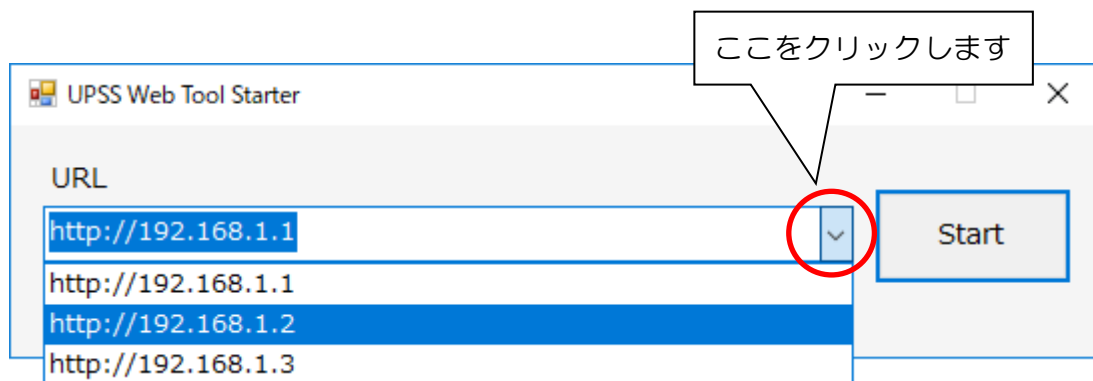


The screenshot shows a window titled "UPSS Web Tool Starter". Inside, there is a label "URL" above a text input field containing "http://192.168.1.1". To the right of the input field is a button labeled "Start".

その他の入力例を次に示します。

HTTPS を使用する場合	https://192.168.1.1
IPv6 アドレスを使用する場合	http://[2001:db8::1]
Web 表示ツールを起動する場合 (Web 表示ツールを使用できる製品のみ有効)	http://192.168.1.1/viewer
ポート番号に 8080 番を指定する場合 (IPv4 アドレス)	http://192.168.1.1:8080
ポート番号に 8080 番を指定する場合 (IPv6 アドレス)	http://[2001:db8::1]:8080
ホスト名を使用する場合	http://example.com

Web ツールを正常に起動できた URL は、履歴が最大 10 件まで保存されます。履歴は、URL 入力欄の右端の「v」をクリックするか、URL 入力欄で「↓」キーを入力することで選択できます。



#### (3) Start/Cancel ボタン

Web ツールの起動または、起動の中断が行えます。

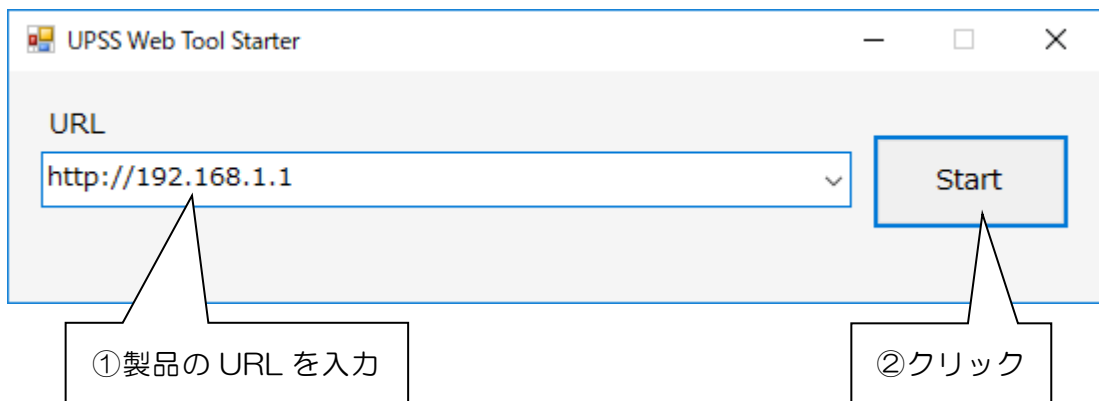
Web ツールの起動中は、ボタンの表示が“Cancel”に変化します。詳細は「3.2 Web ツールの起動と中断」をご覧ください。

### 3. GUI 版の操作方法

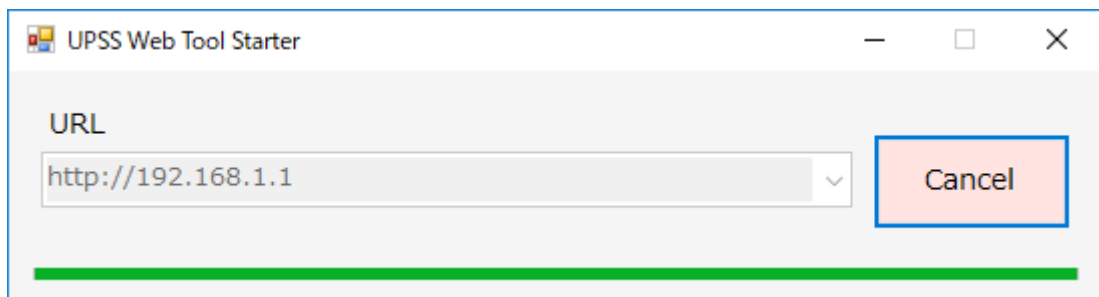
#### 3.2 Web ツールの起動と中断

次の順番で操作することにより、Web ツールを起動できます。

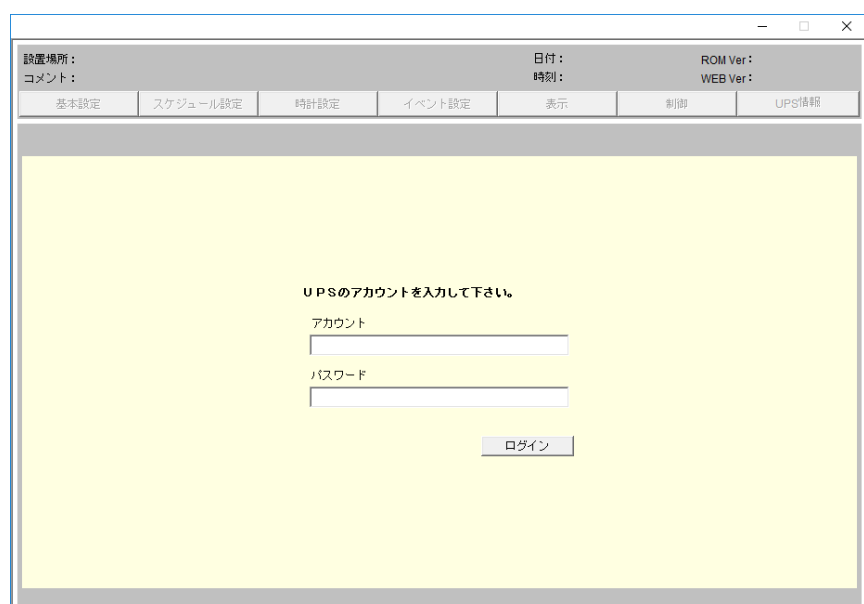
- ① URL 入力欄に、製品の URL を入力します
- ② Start ボタンをクリックします



Start ボタンをクリック後、新しいウィンドウが開き、Web ツールが起動します。  
起動後の Web ツールの操作については、製品のユーザガイドをご覧ください。



新しいウィンドウが  
開き、Web ツールが  
起動します

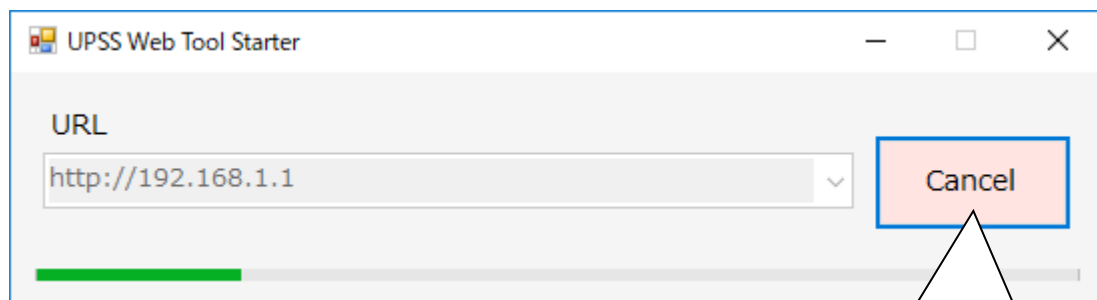


### 3. GUI 版の操作方法

#### <情報>

Web ツールは、複数起動することができます。

Web ツールの起動中は、Start/Cancel ボタンの表示が“Cancel”に変化します。このとき Cancel ボタンをクリックすると、Web ツールの起動を中断できます。



“Cancel”と表示されているときに  
クリックすると、中断できます

### 3.3 ソフトウェアの終了

タイトルバーの「×」をクリックすると、本ソフトウェアが終了します。

#### <情報>

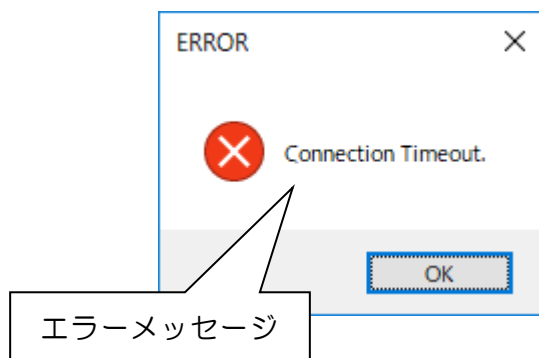
本ソフトウェアを終了しても、Web ツールは終了しません。

Web ツールは、Web ツールのタイトルバーの「×」をクリックして終了してください。

### 3. GUI 版の操作方法

#### 3.4 エラーの一覧と発生時の対応

本ソフトウェアでは、異常が発生すると次のようなエラーダイアログが表示されます。エラーメッセージの内容を元に、対処方法をご確認ください。



エラーメッセージ	エラー発生時の対処
Connection Timeout.	通信タイムアウトが発生しています。再度 Start ボタンをクリックしても状況が改善しない場合は、次の点をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● URL は正しいか</li><li>● 製品の電源は入っているか</li><li>● Windows のプロキシサーバの設定は適切か</li></ul>
Connection Error (Can't Connect).	製品に接続できません。次の点をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● URL に HTTP を指定時、製品の設定で、HTTP が有効になっているか</li><li>● URL に HTTPS を指定時、製品の設定で、HTTPS が有効になっているか</li><li>● Windows のプロキシサーバの設定は適切か</li></ul>
Connection Error (Not Found).	URL が正しくありません。次の点をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● URL は正しいか</li><li>● Windows のプロキシサーバの設定は適切か</li></ul>
Connection Error (Access Limitation).	製品のアクセス制限の設定により、Web ツールを起動できません。アクセス制限の設定を変更してください。
DNS Error.	入力されたホスト名を IP アドレスに解決できません。次の点をご確認いただき、正しく名前解決できるようにしてください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● Windows の DNS サーバの設定は正しいか</li><li>● ホスト名が DNS サーバに登録されているか</li></ul>

### 3. GUI 版の操作方法

Port Number Error.	入力されたポート番号が異なります。製品のポート番号の設定をご確認ください。
URL Error.	URL の形式が正しくありません。URL の形式が正しいかご確認ください。 (例) http://192.168.1.1
Products Not Supported.	製品のプログラムが古いため、Web ツールを起動できません。「1.2 対応製品」をご確認いただき、製品のプログラムを最新版に更新してください。
System can't use HTTPS.	お使いの Windows で HTTPS 通信を行うことができません。 Windows 7 または Windows Server 2008 R2 をお使いの場合、更新プログラムをインストールしていただく必要があります。詳細は、巻末の「付録 A HTTPS 通信を行うための更新プログラムのインストール方法」をご覧ください。
Other Error. Info: ( メッセージ )	上記以外のエラーが発生しています。 次の内容と共に、巻頭のお問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。 <ul style="list-style-type: none"><li>● エラーメッセージの内容</li><li>● 本ソフトウェアのバージョン</li><li>● Web ツールを起動しようとした製品名とそのプログラムバージョン</li><li>● お使いの Windows のバージョン</li></ul>

## 4. CUI 版の操作方法

### 4.1 Web ツールの起動

次の手順で操作することにより、Web ツールを起動できます。

- (1) コマンドプロンプトや、PowerShell を起動し、「2.2 (1) 圧縮ファイルの展開」にて本ソフトウェアを展開したフォルダへ移動します。
- (2) 展開したフォルダ配下にある CUI フォルダに移動します。
- (3) 次のコマンドを実行し、Web ツールを起動します。

**webtool\_starter.bat** 製品の URL

製品の URL の入力例を次に示します。

HTTP を使用する場合	http://192.168.1.1
HTTPS を使用する場合	https://192.168.1.1
IPv6 アドレスを使用する場合	http://[2001:db8::1]
Web 表示ツールを起動する場合 (Web 表示ツールを使用できる製品のみ有効)	http://192.168.1.1/viewer
ポート番号に 8080 番を指定する場合 (IPv4 アドレス)	http://192.168.1.1:8080
ポート番号に 8080 番を指定する場合 (IPv6 アドレス)	http://[2001:db8::1]:8080
ホスト名を使用する場合	http://example.com

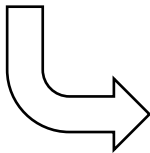
Enter キーを押下後、新しいウィンドウが開き、Web ツールが起動します。  
起動後の Web ツールの操作については、製品のユーザガイドをご覧ください。

#### 4. CUI 版の操作方法

Web ツール起動時の画面の例を以下に示します。

```
C:\¥>WebTool_Starter¥CUI¥webtool_starter.bat http://192.168.1.1
*****
*                               *
*          Web Tool Starter          *
*-----*
*          Product Ver. X.X.X          *
*          Program Ver. P00XXXXXX      *
*-----*
*                               *
*****

Connecting ... completed !
Downloading : http://192.168.1.1/SGWebTool.jar(100.0%)
Web Tool Start !
```



新しいウィンドウが  
開き、Web ツールが  
起動します

##### <情報 1>

Web ツールは、複数起動することができます。

##### <情報 2>

CUI 版をお使いの場合、ショートカットを作成することで、簡単に Web ツールを起動することができます。作成方法は、「付録 D ショートカットの作成方法」をご覧ください。

## 4. CUI 版の操作方法

### 4.2 エラーの一覧と発生時の対応

本ソフトウェアでは、異常が発生すると次のようなエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容を元に、対処方法をご確認ください。

```
C:\>WebTool_Starter\CUI\webtool_starter.bat http://192.168.1.1
*****
*                               *
*          Web Tool Starter      *
*-----*
*          Product Ver. X.X.X    *
*          Program Ver. P00XXXXXX *
*-----*
*                               *
*****
Connecting ...Communication error. (Can't connect.)
```

エラーメッセージ

エラーメッセージ	エラー発生時の対処
Parameter error	URL の形式が正しくありません。URL の形式が正しいかご確認ください。 (例) http://192.168.1.1
Communication error. (Connection timeout.)	通信タイムアウトが発生しています。再度 Web ツールの起動操作を行っても状況が改善しない場合は、次の点をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● URL は正しいか</li><li>● 製品の電源は入っているか</li></ul>
Communication error. (Can't connect.)	製品に接続できません。次の点をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● URL は正しいか</li><li>● 製品の電源は入っているか</li><li>● URL に HTTP を指定時、製品の設定で、HTTP が有効になっているか</li><li>● URL に HTTPS を指定時、製品の設定で、HTTPS が有効になっているか</li></ul>



#### 4. CUI 版の操作方法

Communication error. (Access limitation.)	製品のアクセス制限の設定により、Web ツールを起動できません。製品のアクセス制限の設定を変更してください。
Communication error. (DNS error.)	入力されたホスト名を IP アドレスに解決できません。 次の点をご確認いただき、正しく名前解決できるようにしてください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● お使いの OS の DNS サーバの設定は正しいか</li><li>● ホスト名が DNS サーバに登録されているか</li></ul>
Communication error. (Products not supported.)	製品のプログラムが古いため、Web ツールを起動できません。「1.2 対応製品」をご確認いただき、製品のプログラムを最新版に更新してください。
Other Error. Info: ( メッセージ )	上記以外のエラーが発生しています。 次の内容と共に、巻頭のお問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。 <ul style="list-style-type: none"><li>● エラーメッセージの内容</li><li>● 本ソフトウェアのバージョン</li><li>● Web ツールを起動しようとした製品名とそのプログラムバージョン</li><li>● お使いの OS のバージョン</li></ul>

## 付録 A HTTPS 通信を行うための更新プログラムのインストール方法

お使いの Windows が Windows 7 または Windows Server 2008 R2 の場合、HTTPS 通信を行うためには、Microsoft Corporation が提供する更新プログラムをインストールしていただく必要があります。以下にその手順を示します。

### <情報>

更新プログラムをインストールする際に、Windows の再起動は必要ありません。

(1) 次の Microsoft Corporation の Web ページにアクセスします

<https://support.microsoft.com/en-us/help/3154518/support-for-tls-system-default-versions-included-in-the-net-framework>

(2) お使いの Windows に合ったリンクをクリックし、インストーラをダウンロードします

### Support for TLS System Default Versions included in the .NET Framework 3.5.1 on Windows 7 SP1 and Server 2008 R2 SP1

Applies to: Windows 7 Service Pack 1, Windows Server 2008 R2 Service Pack 1

The .NET framework version 3.5.1 and earlier versions did not provide support for applications to use Transport Layer Security (TLS) System Default Versions as a cryptographic protocol. This update enables the use of TLS v1.2 in the .NET Framework 3.5.1.

Note This content has been made available on Windows Update. To obtain the content, scan Windows Update for the latest .NET Framework updates. If your system is fully up to date via Windows Update, you do not need to take further action.

### Resolution

#### Download information

The following files are available for download from the Microsoft Download Center:



[Download the x86-based package now.](#)



[Download the x64-based package now.](#)



[Download the IA64-based package now.](#)

x86 版（32bit 版）をお使いの場合はこちらをクリックします

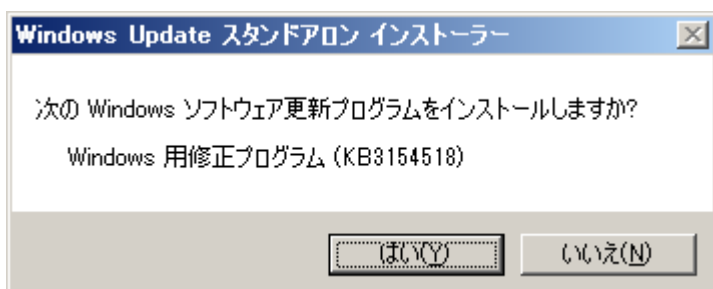
x64 版（64bit 版）をお使いの場合はこちらをクリックします

**<情報>**

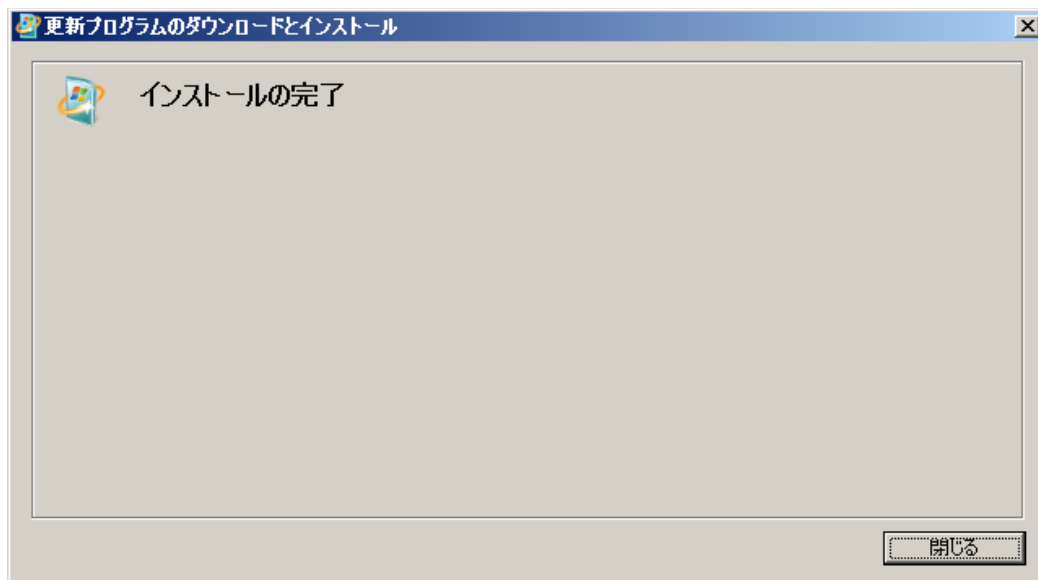
お使いの Windows が 32bit 版か 64bit 版かは、「付録 C お使いの Windows が 32bit 版か 64bit 版かを確認する方法」の手順で確認できます。

(3) ダウンロードしたインストーラをダブルクリックして実行します

(4) 画面の内容に従い、更新プログラムをインストールします



(5) 次の画面が表示されれば、インストールは完了です



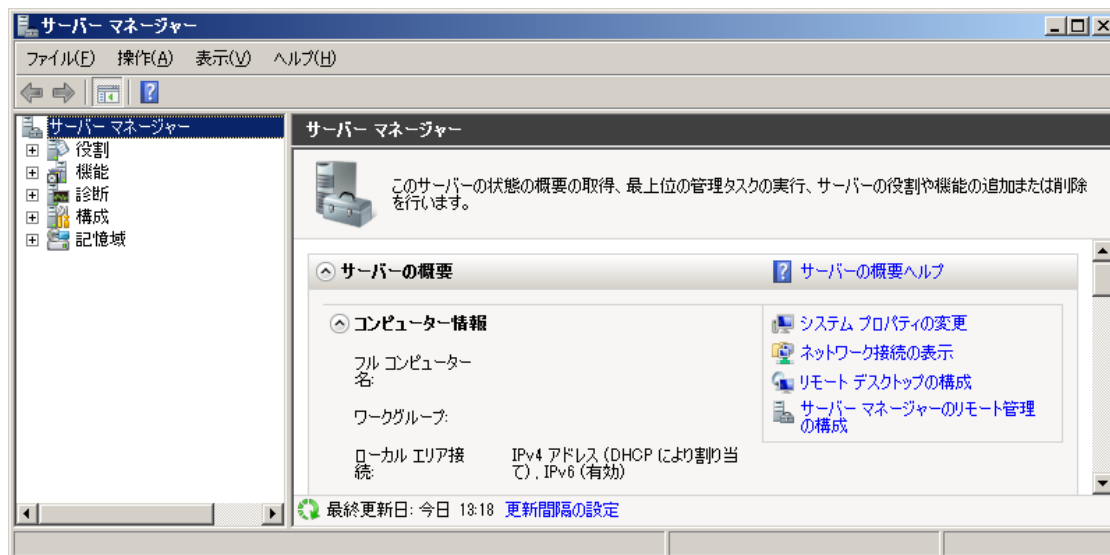
## 付録 B .NET Framework 3.5.1 のインストール方法

お使いの Windows が Windows Server 2008 R2 の場合、本ソフトウェアを使用するためには、.NET Framework 3.5.1 をインストールしていただく必要があります。以下にその手順を示します。

### <情報>

.NET Framework 3.5.1 をインストールする際に、Windows の再起動および、インターネット接続は必要ありません。

(1) Windows Server 2008 R2 の「サーバー マネージャー」を起動します

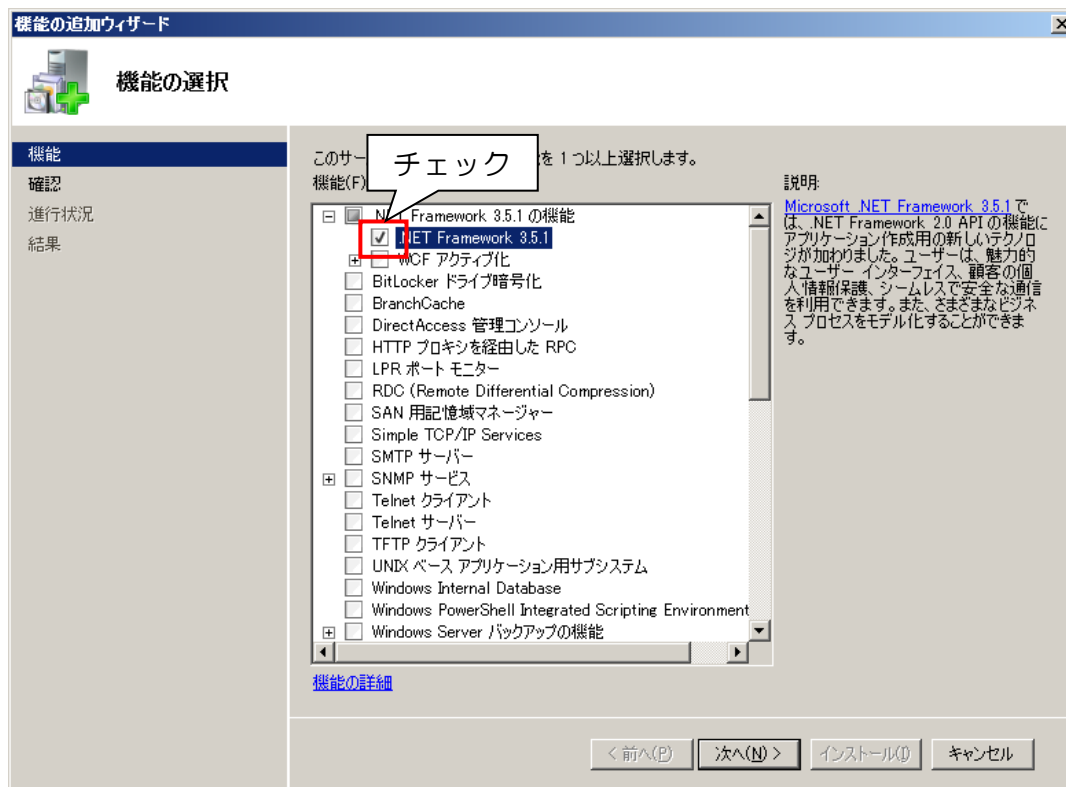


(2) 「機能」をクリックし、「機能の追加」をクリックします

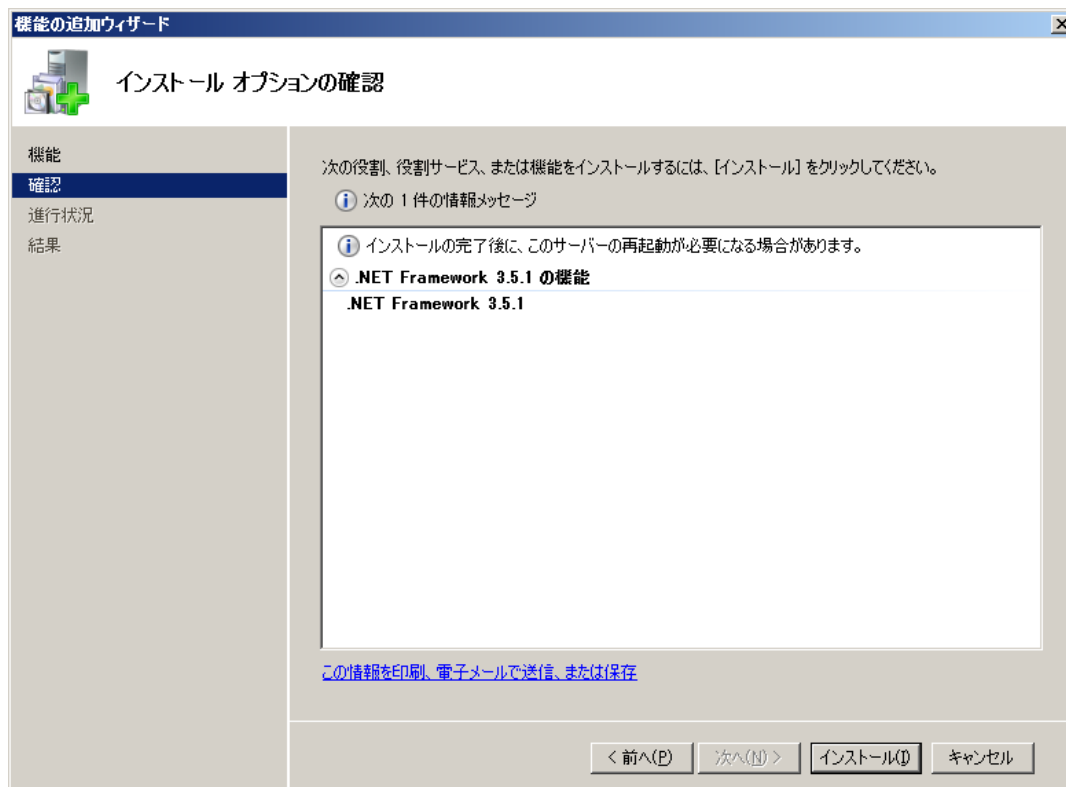


## 付録 B .NET Framework 3.5.1 のインストール方法

- (3) 「.NET Framework 3.5.1 の機能」を開き、「.NET Framework 3.5.1」にチェックを付け、「次へ」をクリックします

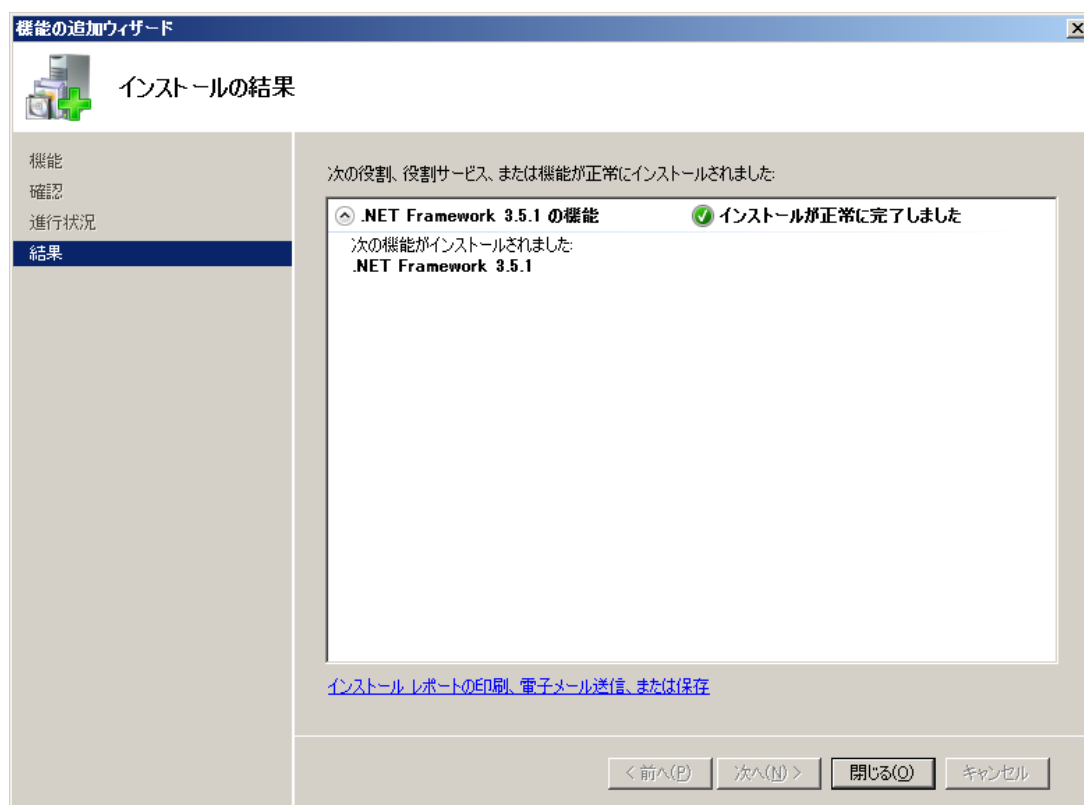


- (4) 「インストール」をクリックします



## 付録 B .NET Framework 3.5.1 のインストール方法

(5) 次の画面が表示されれば、インストールは完了です



## 付録 C お使いの Windows が 32bit 版か 64bit 版かを確認する方法

お使いの Windows が 32bit 版か 64bit 版かは、次の手順で確認できます。

- (1) キーボード上の Windows キー (Windows のロゴマークが描かれたキー) を押しながら、Pause Break キーを押します

※一般的なキーボードでは、Windows キーは、キーボードの左下にあります。  
また Pause Break キーは、キーボードの右上にあります。

- (2) 次の画面が表示されますので、「システムの種類」を確認します



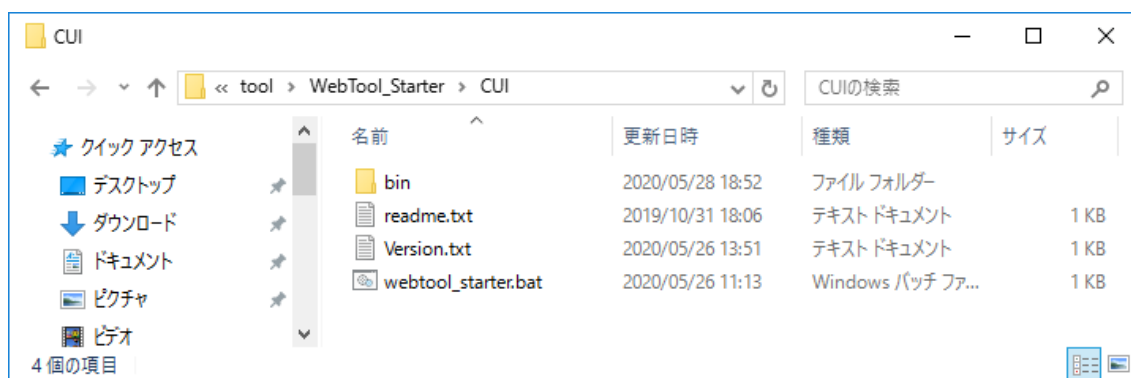
「32 ビットオペレーティングシステム」と表示された場合、お使いの Windows は 32bit 版です。

「64 ビットオペレーティングシステム」と表示された場合、お使いの Windows は 64bit 版です。

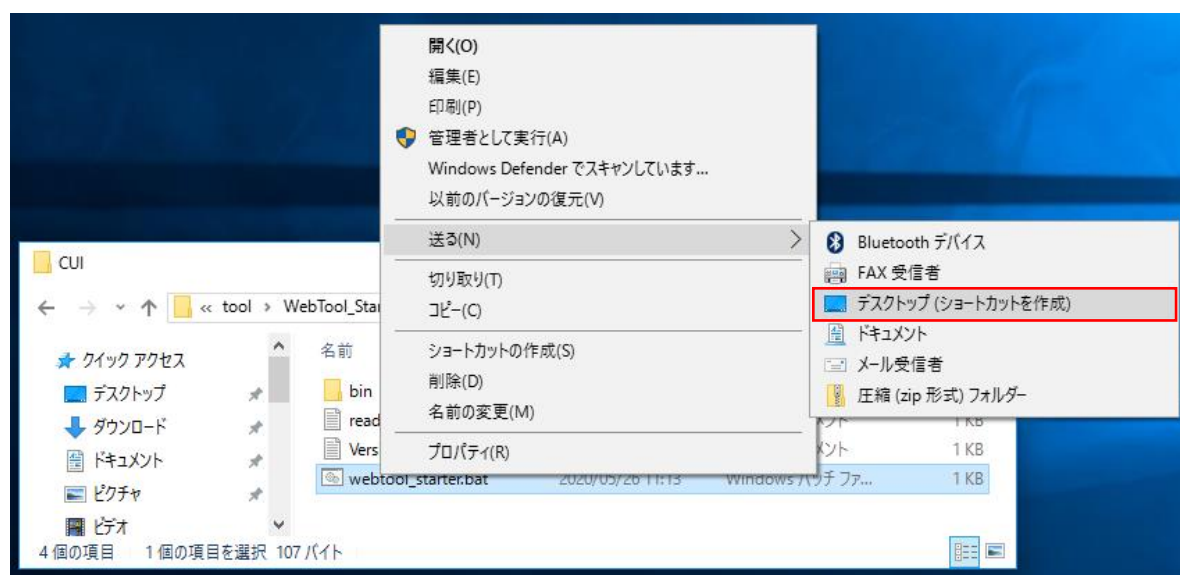
## 付録 D ショートカットの作成方法

Windows で CUI 版の本ソフトウェアをお使いの場合、ショートカットを作成することで、簡単に Web ツールを起動することができます。以下に、ショートカットの作成手順を示します。

- (1) 「2.2 (1) 圧縮ファイルの展開」の手順に従い、本ソフトウェアの圧縮ファイルを展開します
- (2) 圧縮ファイルを展開したフォルダにある CUI フォルダに移動します  
ここでは、C¥tool¥WebToolStarter¥に展開したとし、C¥tool¥WebToolStarter¥CUI に移動します。



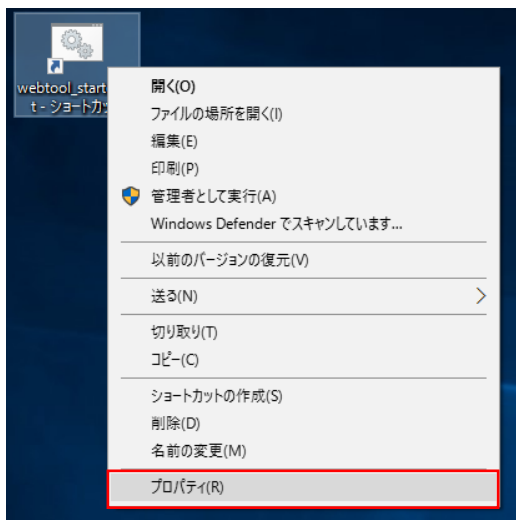
- (3) 「webtool\_starter.bat」を右クリックして表示されるメニューから、「送る(N)」の中の、「デスクトップ (ショートカットを作成)」をクリックします





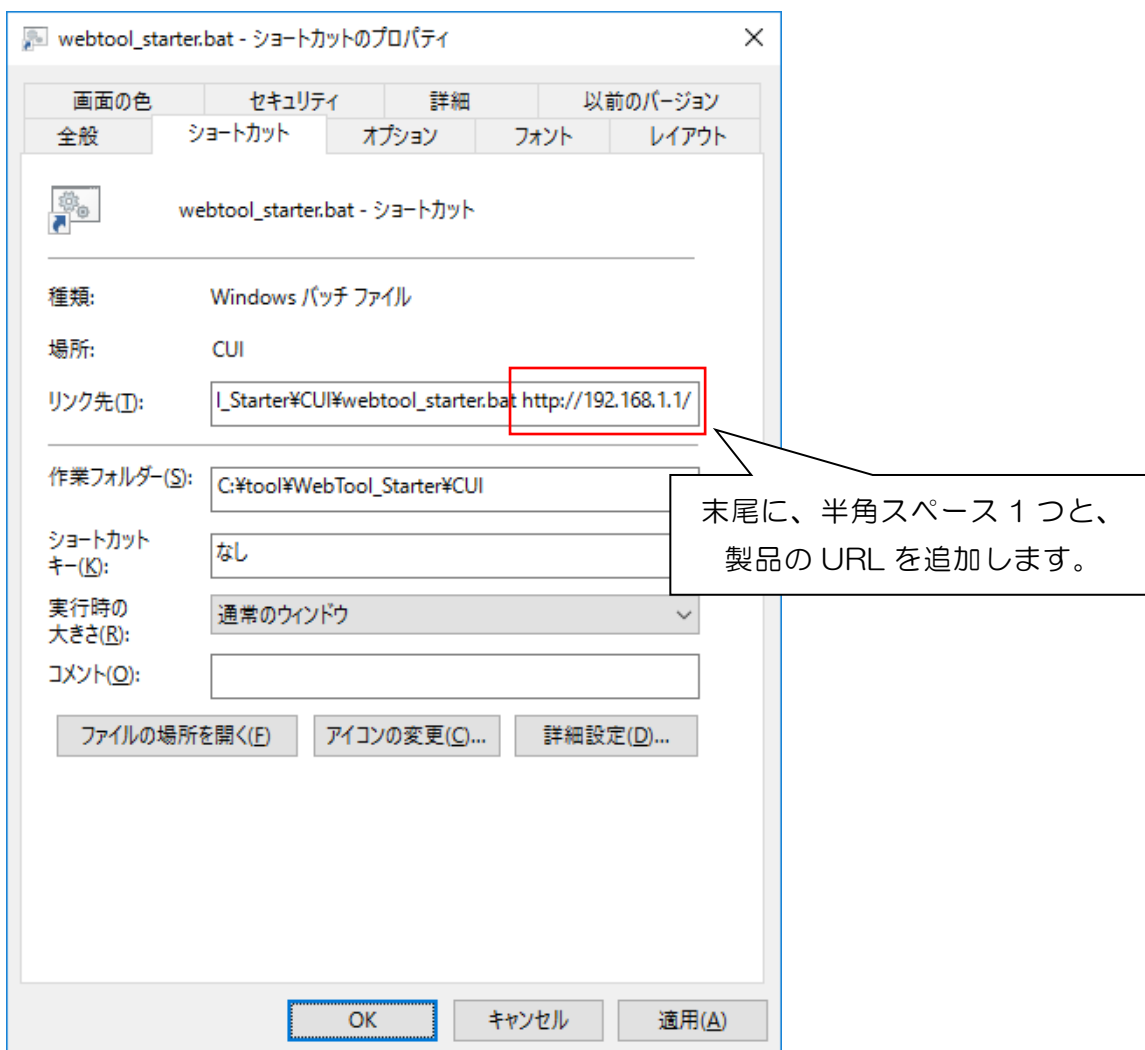
## 付録 D. ショートカットの作成方法

- (4) 「デスクトップ」に作成されたショートカットを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ(R)」をクリックします



- (5) 「リンク先(T)」の末尾に、半角スペースと、Web ツールを起動したい製品の URL を追加します

製品の URL の入力例は、「4.1 Web ツールの起動」をご覧ください。



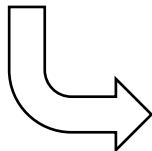
(6) ショートカットのファイル名を、任意のファイル名に変更します



(7) ショートカットをダブルクリックすることで、Web ツールが起動します

```
*****
*                               *
*           Web Tool Starter     *
*-----*
*           Product Ver. X.X.X   *
*           Program Ver. P00XXXXX *
*-----*
*                               *
*****

Connecting ... completed !
Downloading : http://192.168.1.1/SGWebTool.jar(100.0%)
Web Tool Start !
```



新しいウィンドウが  
開き、Web ツールが  
起動します

